

■ 目次

- 提言要旨 Page 3
- はじめに Page 4
- 現状と課題 ～地域担当職員制度の導入状況～ Page 5
- 現状と課題の分析・考察 Page 8
- 施策1 人材育成としての地域担当者制度 Page10
- 施策2 庁内バックアップ体制の整備 Page12
- 施策3 地域ペアリング制度 Page14
- おわりに Page16



地域と行政をつなぐために

社会全体の変化

- ・少子化・超高齢化の進行
- ・財政の悪化

自治体責務の増加

- ・権限拡大と人員不足
- ・地域課題の増加

地域担当職員制度の課題

- ・地域の声をどう反映するか
- ・制度の問題点は何か

有効な手段であるはずの地域担当職員制度は何故普及しないのか。

行政の抱える課題

担当職員が抱える課題

- 職員のモチベーションが上がらない。
- 研修機会の欠如
- 地域の声をどう扱ってよいかかわからない。
- 他の地区の情報が共有されない。

組織体制・制度の課題

- 地域への効果的な情報発信が行われていない。
- ベテラン職員しか担当者になれない。
- 各部門でバラバラに地域と連絡をとっている。

地域が抱える課題

地域の課題

- 地域の人材育成の欠如
- 地域の担い手の減少
- 地域が自立しない、行政への依存度が高い。
- 他の地区の情報が共有されない。

様々な課題から導かれる理想の「地域担当職員制度」とは。

「地域の声」を施策に反映できるより実効性の高い制度を目指して。

施策1

人材育成としての地域担当職員制度

- 職員の人材育成
- インセンティブの付与

施策2

庁内バックアップ体制の整備

- 地域担当職員制度の業務とそれ以外の業務との負担調整
- 市全体でのバックアップ体制の整備

施策3

地域ペアリング制度

- 地域まるみえシート作成
- 地域勉強会の開催
- 地域アタックプラン策定と実行